

高市政権の一翼 として改革推進！

政策実現に向けてやるべき事は変わりません！

皆様の声とともに
日本を前へ！

党内唯一
全方面の役職を
網羅的に就任！
覚悟を持って挑む

副幹事長

総務部会長

国会対策副委員長

政務調査会副会長

 **日本維新の会**

黒田まさき

衆議院議員／大阪 16 区（堺市堺区・北区・東区）支部長

日本再起へ —これからが本当の闘い—

日本初の女性総理・高市早苗内閣が発足しました。日本維新の会は、日本の未来を切り拓くための 12 項目の政策提言を「12 本の矢」として取りまとめ、自民党との合意形成に向けて粘り強く協議を重ねた結果、大筋での政策合意が得られ、維新が掲げた公約の推進を確約するため、高市総裁との間で正式に連立合意書を締結いたしました。

これにより、保守の理念と改革の意志を併せ持つ「改革保守政権」が誕生しました。いまこそ「日本の底力」を呼び覚まし、次世代に誇れる日本を引き継ぐべく、強く・豊かで・自立した国家づくりを、高市政権と共に『日本再起』に向けて力強く前へ進めてまいります。

日本維新の会は、「政策実現」こそが自党の存在意義であることを胸に刻み、官位（ポスト）を求めず、選挙も恐れず、連立相手である自民党に対しても、言うべきことは正々堂々と申し上げ、改革のアクセルを踏み込んでまいります。



目前の選挙対策のために合流

ではなく



具体的な政策実現のための連立

連立政権合意書

全文は

こちらから



『12 本の矢』の具体的項目は裏面で全文を公開！ ▶



『12本の矢』を自民党に提示

連立政権樹立にあたっては、我々日本維新の会が特に重要と考える政策を『12本の矢』として取りまとめ、自民党に提示させて頂きました。もともと成り立ちの違う政党ですので、全ての項目で完全に合意する事は難しいことは承知していますが、高市自民党総裁と吉村代表、藤田共同代表の党首間協議でほぼ全ての項目において合意、または前向きに協議していくことが確認されたため、連立政権を樹立しました。

連立政権で政策を前に！

これまでも日本維新の会は批判だけではなく、政策実現政党として野党の立場からでも政府与党に対して様々な政策提言や法案の修正提案を行い、国民目線で政治を前に進めてきました。今回、連立政権を樹立するにあたって、その基本姿勢は変わりません。党首間で合意された項目について、有権者の皆様とお約束した公約を1つでも多く、そして1日でも早く実現するべく“短期的な経済対策、政治改革、構造改革、中長期的な国家観”まで網羅的に自民党に働きかけていきます。

Q. 過去にも維新は党首間合意で自民に騙されたけど、大丈夫？

A. その経験から、まずは閣内には入らず、単独過半数を持たない自民党に対して常に緊張感を持った立ち位置で政策の実現に向けた協力関係を続けていきます。

Q. 企業団体献金の禁止は合意でなかったけど、諦めたの？

A. 社会保障改革や副首都など、合意に至ったその他の重要政策を一步でも前に進めるために連立しますが、合意に至っていない政策も旗は降ろさず引き続き交渉していきます。

政策実現にこだわり、日本を前へ！

1

経済財政政策

ガソリン暫定税率廃止
2年間食品消費税ゼロ、等。

2

社会保障政策

「三党合意」履行
医療費の費用対効果分析、等。

3

皇室・憲法改正・家族制度等

旧宮家の養子縁組に向けた
皇室典範改正、憲法9条改正、等。

4

外交安全保障制度

戦略3文書改定前倒し、自衛隊の
組織改革、国際標準化。国営工廠、等。

5

インテリジェンス政策

インテリジェンスに関する国家機関の
組織、スパイ防止法制定、等。

6

エネルギー政策

原子力発電所の再稼働、
次世代型エネルギー開発、等。

7

食料安保・国土政策

食料安全保障対策投資、大規模太陽光
発電所（メガソーラー）の規制、等。

8

経済安保政策

南西諸島における海底ケーブルの
強靱性強化策推進、等。

9

人口政策・外国人政策

外国人の移入管理の厳格化、
土地取得規制、等。

10

教育政策

高校無償化、小学校給食無償化の確実な実施。
科学技術立国復活のための投資、等。

11

統治機構改革

副首都関連法案の次期通常
国会での成立、等。

12

政治改革

企業団体献金廃止、議員定数削減、
選挙制度改革、等。

全文は
こちら

